

米国 フロリダ州産オレンジ果汁のラベル表示で集団訴訟

[FreshPlaza](#) 2025年10月29日

フロリダズナチュラル生産者協同組合は、果汁製品の虚偽広告に関する集団訴訟に直面している。原告のパトリシア・ドナディオ氏はニューヨーク州西部地区連邦地方裁判所に提起した訴訟で、同組合の製品にはメキシコ産及びブラジル産の果汁が含まれていると伝えられているにもかかわらず、あたかもフロリダ州産のオレンジのみで製造されているかのような印象を与えることで、消費者を誤解させていると主張している。

訴状は、フロリダズナチュラルの果汁製品の前面ラベルには米国旗と「フロリダ州の生産者が所有」という文言が並べて表示されており、「フロリダ州に関する一連の表示全体として、製品がフロリダ州産のプレミアムな果汁のみで構成されていることを示しているように見える」としている。

ドナディオ氏は、ブランド表示は果汁が完全にフロリダ州産であると信じるように消費者を誘導しており、その認識が購入の決定に影響を与えていると主張している。訴状は「製品のすべてのパッケージが、当該製品がフロリダ州産果汁のみで作られていると消費者に誤解させている」と主張している。

訴訟では、フロリダズナチュラルが2022年5月以降、フロリダ州におけるオレンジの生産量が減少した時期に、需要に応え市場シェアを維持するためにメキシコ産及びブラジル産の果汁の混合を始めたとされている。訴状はさらに、この変更がラベルや販売活動に輸入品の使用を反映することなく行われたと指摘している。

ドナディオ氏は、同組合を詐欺及びニューヨーク州一般ビジネス法違反の疑いで告発しており、自身と他の集団訴訟メンバーを代表して陪審裁判を求めるとともに、宣言と差止めによる救済、さらに損害に対する賠償及び法定の賠償の支払いを求めている。

本件は、製品の原産地表示に異議を唱える消費者による訴訟の広範な傾向の一部である。今年これまでに、ゴヤフーズ、ペプシコ及びペプシ・リプトンティー共同事業体に対しても、「Made in USA」の表示が誤解を招くとして同様の訴訟が提起されている。これらの訴訟は、国内での製造と調達を促進するドナルド・トランプ政権による貿易施策と時期を同じくしている。

フロリダズナチュラルは、フロリダ州の柑橘類生産者らが所有する協同組合であるが、現時点で対応を公表していない。同組合は、従来から100%フロリダ州産オレンジ果汁として製品を販売してきたことで知られるが、カンキツグリーンング病と異常気象に関連したオレンジ収量の減少により、生産面の課題に直面している。

(原告代理人の所属及び氏名、その他裁判の詳細について省略しました。)

出典: Top Class Actions

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨または批判するものではありません。)